

茨城新聞 2017年3月18日付

33人、新たな道へ
高萩・第一学院高
校高萩校（東川弘校長）卒業式が11日、同市春日町の市総合福祉センターで開かれた。同校通学生23人と同校水戸キャンパス10人の計33人が新たな道に踏み出した。

高萩市赤浜の広域通信制単位制高校の第一学院高

校高萩校（東川弘校長）卒業式が11日、同市春日町の市総合福祉センターで開かれた。同校通学生23人と同校水戸キャンパス10人の計33人が新たな道に踏み出した。

33人、新たな道へ

高萩・第一学院高

校高萩校（東川弘校長）卒

業式が11日、同市春日町の

校高萩校（東川弘校長）卒

業式が11日、同市春日町の

校高萩校（東川弘校長）卒

業式が11日、同市春日町の



東川弘校長から卒業証書を受け取る卒業生＝高萩市春日町

しっかりと心に刻んでほしい」と式辞を述べた。
卒業生代表の渡辺智洋さんは「人付き合いが苦手だったが、自信を付けることができた。大学に進学し、映像を活用して茨城県を魅力ある場所にしたい」と抱負を述べた。

株式会社ウイザス（大阪府）が運営する同校は、教育特区の認定を受け2005年にウイザス高校の名で開校し、12年に現校名に変更した。

式には卒業生、在校生、保護者のほか、日頃から生徒たちと交流のある地域住民ら約170人が出席。東川校長は一人一人に卒業証書を手渡し、「いつも前向きに生きることと、社会で人の役に立つということを

た。